

問題児 三木谷浩史の育ち方 (幻冬舎単行本)

問題児

三木谷浩史の育ち方

山川健一



発売日: 2018年2月6日

出版: 幻冬舎

著者: 山川健一

ページ: 200

PDF

日本の未来と希望が
ここにある。

平均以下の成績。有名私立中学退学。熱中したのはテニスだけ。教師を悩ませ、手をわずら
わせ続けた子供時代。

だがその少年は、日本を代表する実業家になった。

少年は両親からどのような教育を受けてきたのか？
前を向き続ける、くじけない心はいかに育まれたのか？
そして、いま何を考え、どのように動いているのか？

本人、両親、そして関係者への取材を経て、初めて綴られる素顔。

内容を一部抜粋

三木谷浩史は十分以上に悪童であった。問題児であった。中学で煙草を吸い、競馬、パチ
ンコ、麻雀に入れ込み、父親の財布から金をくすねた。成績はふるわず、中学の通信簿は5段
階評価で2と3ばかりである。欠席日数40日以上、遅刻は30回以上。それが高校2年まで続
く。

いつ道をそれてしまってもおかしくない危うさを、この少年はずっと内側に隠し持ってい
たのだ。

そうならなかったのは、少年の背中を、いつも見てくれる存在があったからだ。父親であ
る。勉強ができないことを、そもそも勉強をしないことを、父親は一度も叱らなかった。母
親もそうである。

だが息子の背中を見ていて、ちょっとまずいなという時にはトントンと肩を叩き、小声で
アドバイスしてきた。道をそれる直前で、少年は太陽に照らされた明るい世界に戻ってくる
ことができた。

少年の両親は、日本の多くの家族がそうであったように、大きな戦争と敗戦をくぐり抜け、
貧しい時代を乗り越えてきた。決して多いとは言えない給料で、3人の子供たちを大学にやっ
た。母親も学習塾で働き、生計を支えた。

その過程で、「本質を見る」ことの大切さを痛切に感じるようになった。だから両親は息
子にもそうしてほしいと願ったのである。

(「プロローグ 太陽の子供」より)

<https://rapidgator.net/file/00b5eb5e4848e5f6c36b235f14dced8a/PDVNQY6L4.pdf.rar.htm>

↓